

CULTURE

足立衛&アゼリアジャズ 池田拠点にジャズ文化発信

Toyonaka-shi & Ikeda-shi, Osaka

アルトサクソ、クラリネット奏者として活躍する足立衛さん（右から3人目）＝池田市民文化会館提供。次回公演は5月14日（土）



池田市民文化会館を拠点に活動するジャズビッグバンド「足立衛&アゼリアジャズオーケストラ」のリーダー・足立衛さん（66）は、ジャズの魅力を「譜面通りに演奏するクラシックとは違い、それを跳ねるように演奏したり、自由にインプロビゼーション（アドリブ）を加えていくところ」と話す。

少年時代からジャズにあこがれていた足立さんだが、まだ専門に習う場もなく、クラシックの素養を身に付けた後に転向した。「当時のジャズは、世

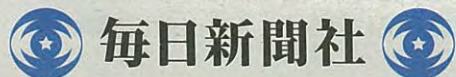
界有数のミュージシャンが、たばこの煙がもうもうとする酔っ払いばかりのクラブで演奏するものだった。そういう客を何とか振り向かせたかった」

「あるホテルのロビーで演奏をした時、ひと目で大きな悩みを抱えているとわかる、青白い顔をした男性が目にとまった。演奏しながら気にしていたら、彼がだんだんと元気に、目に力が戻っていくのがわかってね。後で『ありがとうございます。おかげさんで元気になりました』と握手され、涙がこぼれるほどうれしかった。ミュージシャンでしか

味わえない気持ちだと思う」

趣味でジャズをやる人も増え、プロとアマのセッションなど裾野も広がってきた。それは喜ばしいことと思う一方で、「だからこそ我々プロは、『Sing Sing Sing』をやるにしても、一味違うものを見せなければ」と語る。

今後はジャズ文化普及のため、小中学校でも鑑賞会も開く予定という。「17人で編成されるビッグバンドは、ジャズの魅力が詰まったぜいたくな音楽。一度生で聴いてほしいな」＝7面に招待券プレゼント情報。（磯野健一）



毎日新聞社

〒530-8251 大阪府北区梅田3-4-5 (隣毎日新聞ローカル)
TEL:06-6346-8255 / FAX:06-6346-8256
Mail:info-toyonakaiked@machigoto.jp
(広告掲載についても上記にお問い合わせください)

Staff & 問い合わせ先

編集長 : 梶川伸
編集記者 : 磯野健一、進藤郁美、早川方子
アートディレクション : 黒須信宏 (CrossDesign)
広告企画 : 新広社、毎日新聞ローカル